

# ガールズの野菜スイーツ

山形ガールズ農場の野菜ぷりんは、野菜本来の美味しさときれいな色が活かされていることが特徴。これは、黄身が白く、一般の卵よりあっさりした味の「ホワイトたまご」を使用しているから。野菜嫌いの子供から固いもの、繊維質なものはおちよつと・・・という高齢者まで、誰もが気軽に野菜を食べられると好評だ。

その他にパウンドケーキやクッキー＆クラッカーもある。甘さ控えめ、野菜入り、手作り、かわいいパッケージ・・・、女子の心をくすぐるスイーツは山形ガールズ農場ならではの商品だ。



農楽里的スイーツ



1 野菜ぷりんは年間を通し約10種類味わえる。パウンドケーキは、素材を活かすためバターの代わりにくせの少ない米油を使用するというこだわり、味は4種類。

2 加工を担当する原田有佳子さん

## 地域おこし協力隊とは？

県内 12 市町村で 30 名が活躍中

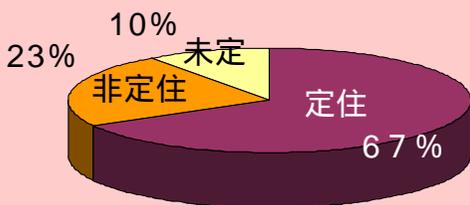
H24.7.1 のデータ

地方自治体が都市部の人材を過疎地域・離島などの新たな担い手として受け入れ、農林漁業の手伝いや住民の生活支援などの「地域協力活動」に従事してもらい、地域の活性化につなげるもの。



尾花沢市の協力隊、左から古藤さん、伊藤さん、柳沢さん。地域の農作業やイベントを明るく元気にお手伝いしている。

任期終了後、隊員の約 7 割が定住



総務省平成23年度地域おこし協力隊の任期終了に係るアンケート結果より

# 農業と地域を変える

## ～ 女子たちの本気の挑戦 ～



写真提供：©Ichiro Fujisato

### キーワードⅡ 女子力

「母となる女性に、もっと農業や食の大切さを感じてほしい。女性の立場で農業を憧れられる職業にしたい。」という想いで設立された山形ガールズ農場。男性主体の農業の世界に、「女子力」という新たな風を吹きこんでいる。

最近はいろいろな場面で、この「女子力」が目されている。農業そして地域でも、従来の男性の活動に、女性ならではの「女子力」を活かした取組みが加われば・・・考えただけで楽しそうだ。

### ガールズ流地域おこし

山形ガールズ農場では、社員7名のうち6名が村山市の地域おこし協力隊にも委嘱されており、地域を元気にする活動も積極的にやっている。

「普段から地域の方々に農作業を教えるもったりしています。昨年夏のイベントでも、地域の方々から協力してもらいました。地域には、外から来た人でないと気づかない良さがたくさんあると思います。これから、外部の人を呼び込んで、地域の良さを地域の方々と一緒にアピールしたい。そして一緒に地域を盛り上げていきたい。」と、山形ガールズ農場の原田有佳子さん。

地域の人だからできる事、山形ガールズ農場だからできる事、互いの得意分野を活かした活動は、何倍もの効果を生むかもしれない。



国立ファーム株式会社 山形ガールズ農場  
TEL：0237-56-3686  
Web：http://www.kf831.com/girls/

販売先：注文販売または  
道の駅むらやま「まごころ広場」  
(ガールズ農場は金土日のみ出店)